

# 今後の町政運営について



## 問

岡田町長が2期目の町政を担われ、3年7カ月が過ぎようとしており、私は町長の2期目に対するご自身の、総括的評価と来期の町政運営にむけた所信を伺う。

町長はまちづくりの基本理念として、「公正で清潔

な行政を基本に、刻々と変化する今日の社会情勢に対応する時代の感覚を持つて、次代を担う子供達に明るい未来を約束し、すべての町民の皆さんが安心して生活出来る環境づくりへの取組」を掲げ「第4期総合計画」を基に6つの施策



議会で答弁する岡田町長（写真は十勝毎日新聞社提供）

を展開してこられ、厳しい地方財政のなか、「協働のまち推進事業」を中心に札内駅周辺整備、公営住宅の建替え、起債の繰り上げ償還の積極的取組み、ごみの減量化と公平性を保つごみの有料化等であるが最大の事業は町村合併であり、協議を重ね2月6日成就し、町長は合併が終点でなく新たなまちづくりのスタートとし、1つの町として共に手を携え、次の世代に自信を持つて引き継ぐことができるまちづくりを決意され推進された2期目の総括的評価を伺う。

次に将来に向けた町長の考えを伺う。今後三位一体の改革による地方自治体の財政危機は一層迫ってくる。農業には品目横断的経営安定対策なる大改革の不安、少子高齢社会での町民福祉の課題等山積、旧忠類村との一体感の醸成等多くの課題があるが、町長は来期、再度町政を担うお気持ちがお在りなのか、所信を伺う。

**町長** 私は、平成15年4月、立候補に当たり次の6

つの基本施策を掲げ、町民の皆さんへの公約とした。  
①自然と調和した快適で住みよいまちづくり。  
②地域の特性を生かした活力のあるまちづくり。  
③安らぎと生きがいのあるまちづくり。  
④心豊かな人と文化を育むまちづくり。  
⑤人と人がふれあうまちづくり。  
⑥町民とともに歩むまちづくり。

これら公約に全力で取り組み、全力で駆け抜けた4年間であったと実感しているが、町民の皆さんのニーズは常に変化し、時代の変化とともに新たに生ずる課題に対し、十分に伝えていくことができたのかと言うと、必ずしも十分とは言えないものもあるかと思う。再度町政を担う気持ちがあるかについては、先日、私の連合後援会から、3期目出馬の要請を頂いた。大変有り難く、身に余る光栄と存ずるところである。

私は、出馬要請を頂き今日まで、これまでの2期8年間を振り返り、8年前ま

ちづくりに熱き思いを抱き立候補したときを思い、やり残していることはないか、また、私に町政を託してくださった多くの町民の皆さんのまちづくりへの願いを実現することができたのかを思いめぐらせた。私は、忠類村との合併協議の中で、一体感の醸成・均衡ある発展の確保など、多くの約束をした。合併が終着点ではなくスタートであるとも述べ、一つの町として共に手を携え、次の世代に自信をもって引き継ぐことができるまちづくりを新たな課題として取り組むことが、私に課せられた責務であると考ええる。

多くの町民の皆さん、そして、町議会の皆さん方のご支持をいただけるのであれば、引き続き町政を担わせていただきたいと考えている。